



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月6日

上場会社名 株式会社クリエアナブキ
 コード番号 4336 URL <https://www.crie.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上口 裕司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 楠戸 三則
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 087-822-8898

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,632	1.6	109	98.1	116	85.2	69	88.5
2020年3月期第1四半期	1,606	3.5	55	21.4	62	13.6	37	10.3

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 77百万円 (88.8%) 2020年3月期第1四半期 40百万円 (13.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	30.24	
2020年3月期第1四半期	16.05	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	2,196	1,225	52.3	496.60
2020年3月期	2,146	1,174	51.3	476.26

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 1,148百万円 2020年3月期 1,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		10.00	10.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,050	4.6	60	33.9	77	28.5	45	29.1	19.46
通期	6,230	2.8	106	27.5	142	21.6	85	14.2	36.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	2,340,000 株	2020年3月期	2,340,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	27,473 株	2020年3月期	27,473 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	2,312,527 株	2020年3月期1Q	2,312,527 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものですが、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で景気が急速に後退し、極めて厳しい状況となりました。人材サービス業界に関しては、企業の採用活動の休止や凍結が進み、有効求人倍率は1.2倍と46年ぶりの下げ幅、完全失業率も2.9%に上昇するなど、雇用環境は急速に悪化してきております。

このような経営環境の中にあつて、当社グループでは、事業の継続及び派遣・請負労働者等を含む全従業員の安全・安心を最優先事項とし、テレワークや時差出勤、オンラインによる登録面談やフォロー、手作りマスクの配布などの対策を講じました。また、国内外の出張を自粛し、会議のオンライン化を進めることにより、事業活動の効率化と経費節減を果たすことができました。なお、当期より社内組織を見直し、仕事や働き方をワンストップで提案する体制とし、社員一人一人の自律性と協働性を高めながら、あらゆるひとの働き方を応援し、雇用機会の創出を通じた収益の拡大に取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、前期成約済みの人材紹介売上が大幅増となったことに加え、経費の節減や投資の先送りなどにより、売上高1,632,244千円(前年同四半期比101.6%)、営業利益109,354千円(同198.1%)、経常利益116,406千円(同185.2%)、親会社株主に帰属する四半期純利益69,941千円(同188.5%)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間より、社内組織の見直しに伴って、経費配分を変更しております。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の営業利益を変更後の当期と同じ条件で算定した数値で比較しております。

各セグメントの営業利益の合計額は211,157千円ですが、全社費用等の調整(調整額△101,802千円)により、四半期連結財務諸表の営業利益は109,354千円となっております。

① 人材派遣事業

当事業の売上高は850,975千円(前年同四半期比100.9%)、営業利益は87,395千円(同124.4%)となりました。

当社グループの主力である当事業では、2020年4月からの同一労働同一賃金による派遣労働者の待遇改善に合わせて行った派遣先との交渉による派遣料金の単価アップが実現したことで、稼働人数減の影響を吸収することができました。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大により新規オーダーの動きが鈍くなっており、先行きが不透明となっております。

② アウトソーシング事業

当事業の売上高は620,746千円(前年同四半期比100.7%)、営業利益は42,166千円(同96.5%)となりました。

株式会社クリエ・ロジプラスが営む物流関連アウトソーシング事業では、減少傾向にあった主たる取引先からの受注が改善したこと、また当社単体のアウトソーシング売上も増収となったことから、概ね堅調に推移いたしました。

③ 人材紹介事業

当事業の売上高は67,083千円(前年同四半期比137.2%)、営業利益は56,995千円(同135.3%)となりました。

収益性の高い当事業では、東京と大阪の「中国・四国UIターンセンター」を主軸にしたUIターン転職が好調であったこと、契約満了に伴う派遣労働者の派遣先での直接雇用が増加した結果、2020年4月入社の新卒者が増加し、前年同四半期の実績を上回りました。しかしながら、企業の中途採用活動の抑制によって求人数が減り、採用基準の厳選化や採用期間の長期化の傾向があります。

④ 採用支援事業

当事業の売上高は89,921千円(前年同四半期比106.8%)、営業利益は23,965千円(同345.6%)となりました。

株式会社採用工房を中核企業として首都圏や近畿圏で営んでいる当事業については、売上は概ね堅調に推移し、テレワークなどによる交通費等の経費節減により、前年同四半期の営業利益を上回りました。

⑤ その他

再就職支援、研修・測定サービスなど、上記の各セグメントに含まれない事業の売上高は3,517千円（前年同四半期比26.0%）、営業利益は634千円（同14.4%）となりました。

研修・測定サービスの売上が、新型コロナウイルス感染拡大により、受託した研修のキャンセルや延期が相次ぎ、前年同四半期の実績を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ49,457千円増加して2,196,082千円となりました。これは、関係会社短期貸付金の増加（50,000千円から200,000千円へ150,000千円増）などによるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前期末に比べ1,117千円減少して970,671千円となりました。これは、賞与引当金の減少（80,940千円から40,374千円へ40,566千円減）などによるものであります。

なお、有利子負債の期末残高は、前期末に比べ39,000千円増加して125,000千円となりました。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前期末に比べ50,574千円増加して1,225,411千円となりました。これは、配当金の支払い及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の変動（751,932千円から798,748千円へ46,816千円増）などによるものであります。

なお、自己資本比率は、前期末より1.0ポイント上昇して52.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想は、本資料の発表日現在、2020年8月6日付 当社「2021年3月期 業績予想及び配当予想に関するお知らせ」にて公表したとおりであります。

なお、最近の業績動向については、本資料及び上記開示資料をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,108,649	1,015,713
売掛金	685,931	681,078
仕掛品	458	5,111
原材料及び貯蔵品	1,044	946
関係会社短期貸付金	50,000	200,000
前払費用	20,006	34,733
その他	2,462	7,019
貸倒引当金	△936	△1,111
流動資産合計	1,867,617	1,943,491
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	51,769	50,874
工具、器具及び備品(純額)	16,892	15,625
有形固定資産合計	68,662	66,500
無形固定資産		
のれん	2,197	276
ソフトウェア	23,077	20,622
電話加入権	3,724	3,724
無形固定資産合計	28,999	24,623
投資その他の資産		
投資有価証券	2,051	2,380
関係会社出資金	28,457	28,457
繰延税金資産	79,351	58,302
差入保証金	69,351	70,088
その他	2,133	2,238
投資その他の資産合計	181,345	161,467
固定資産合計	279,007	252,590
資産合計	2,146,624	2,196,082

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	16,000	55,000
1年内返済予定の長期借入金	70,000	70,000
未払金	91,150	83,177
未払費用	413,504	419,594
未払消費税等	122,006	137,837
未払法人税等	41,165	19,508
預り金	7,761	22,838
賞与引当金	80,940	40,374
その他	5,806	5,797
流動負債合計	848,334	854,126
固定負債		
退職給付に係る負債	123,453	116,544
固定負債合計	123,453	116,544
負債合計	971,788	970,671
純資産の部		
株主資本		
資本金	243,400	243,400
資本剰余金	112,320	112,320
利益剰余金	751,932	798,748
自己株式	△6,679	△6,679
株主資本合計	1,100,972	1,147,788
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	384	612
その他の包括利益累計額合計	384	612
非支配株主持分	73,479	77,009
純資産合計	1,174,836	1,225,411
負債純資産合計	2,146,624	2,196,082

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	1,606,463	1,632,244
売上原価	1,256,810	1,255,505
売上総利益	349,653	376,738
販売費及び一般管理費	294,451	267,383
営業利益	55,202	109,354
営業外収益		
受取利息	0	199
助成金収入	6,577	6,455
その他	1,268	604
営業外収益合計	7,846	7,259
営業外費用		
支払利息	189	208
為替差損	17	-
営業外費用合計	207	208
経常利益	62,841	116,406
税金等調整前四半期純利益	62,841	116,406
法人税、住民税及び事業税	11,518	18,656
法人税等調整額	10,502	20,948
法人税等合計	22,020	39,604
四半期純利益	40,821	76,801
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,712	6,860
親会社株主に帰属する四半期純利益	37,108	69,941

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	40,821	76,801
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	228
その他の包括利益合計	△14	228
四半期包括利益	40,806	77,030
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37,093	70,169
非支配株主に係る四半期包括利益	3,712	6,860

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りに重要な変更はありません。

当社グループでは、繰延税金資産の回収可能性、固定資産の減損処理等の会計上の見積りについて、四半期連結財務諸表作成時に入手可能な情報に基づき、新型コロナウイルス感染症による売上高等への影響が半年程度の期間にわたると仮定しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	人材派遣事業	アウトソー シング事業	人材紹介事業	採用支援事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	843,043	616,734	48,911	84,228	1,592,916	13,546	1,606,463	—	1,606,463
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	371	—	—	6,150	6,521	4	6,526	△6,526	—
計	843,415	616,734	48,911	90,378	1,599,438	13,551	1,612,990	△6,526	1,606,463
セグメント利益	70,239	43,703	42,136	6,934	163,014	4,419	167,434	△112,232	55,202

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再就職支援事業、研修・測定サービスなどを含んでおります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△112,232千円には、セグメント間取引消去1,574千円、のれん償却額△276千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△113,529千円が含まれております。

(2) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	人材派遣事業	アウトソー シング事業	人材紹介事業	採用支援事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	850,975	620,746	67,083	89,921	1,628,727	3,517	1,632,244	-	1,632,244
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	390	-	-	6,150	6,540	-	6,540	△6,540	-
計	851,365	620,746	67,083	96,071	1,635,267	3,517	1,638,784	△6,540	1,632,244
セグメント利益	87,395	42,166	56,995	23,965	210,522	634	211,157	△101,802	109,354

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再就職支援事業、研修・測定サービスなどを含んでおります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△101,802千円には、セグメント間取引消去1,595千円、のれん償却額△276千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△103,121千円が含まれております。

(2) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間から、社内組織の見直しに伴い、経費の配分を変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの経費配分方法に基づいて作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。